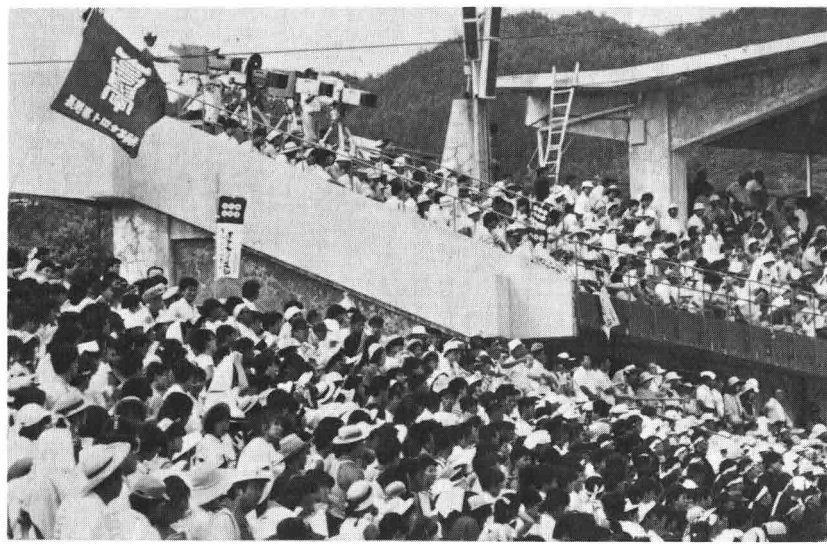


同窓会報

第21号
昭和62年8月1日
社団法人
上田高等学校同窓会
印刷所
田辺印刷株式会社
(発行部数 21,000部)

同窓会の総力を結集 母校の栄光に支援!

理事長 金子 八郎



県大会決勝戦における勝利の瞬間のあの感動、思わず隣同士抱き合っただけの感激は終生忘れることが出来ません。三十年ぶりの栄誉でありまして、同窓生の皆様のお喜びもいかにばかり

甲子園出場の栄冠を手に 活力みなぎる学校づくりを

校長 金子 萬次郎

平素、母校の教育の発展に温かいご声援と多大のご協力を戴き、この会報をお借りして厚くお礼申し上げます。
さて、母校の現況について、別関心の高い進学状況の概略から申しあげたいと思います。今春は新制度初の入試ということもあり、その対策に苦慮しましたが、国立大百数十名、私立大二百余名の現役合格者を数え受験情報によると県内高校で三指に入る結果と聞いております。

この機会に学力の向上の方途について、野球部が実に三十分年振り宿願の甲子園への出場を決め、この快挙に母校は湧きに湧いております。また団体優勝を成し遂げた剣道部をはじめ硬庭部、囲碁部も全国大会の出場権を得、その活躍を願っています。

ハンドボール部は過去の実績が高く評価され全国の代表として第五回中日青少年学生交流大会に参加を依頼されています。本校にとつて、これ又、大変な榮譽であり、この交流を通して日中友好の役割を十分果たしてくれるものと今から期待しています。いま、学校現場へは数々の課題が投げかけられております。ともあれ、本校としては、活力ある学校づくりに総力をあげ、生徒のもつ個性、能力を一層伸ばし各方面の期待はもとより、新しい時代にふさわしい人材の育成にも応えていくことが必要と強く思っております。

それは、晴れの甲子園大会出場のため、母校に寄せられたご支援に深く感謝申しあげ、ご声援の程をお願いいたします。

かと推察、ご同慶の至りに存じます。今年は剣道部も県代表として全国大会に出場、ハンドボールも日本代表とし訪中するなど、今や上田高校運動部の意気は、正に天を衝くものがあります。この意気は勉学面にも発揮され、今春の大学入試では、立派な成績を収めました。
こうした意味で、甲子園出場は決して好運のみよるものではなく、上田高校の現実を象徴するものだと考えております。これを後援すべく、関係者の総力を結集し、超特急で後援会を組織しました。私共はこれを契機に、いよいよ関係者の理解と協力を深め、あらゆる面で、上田高校が県代表として二十一世紀を迎えることが出来るような強力なバックアップ態勢を築きたいと念願しております。
それにつけても選手諸君の健闘を願わずにおられません。応援も立派に行ない、さすが上田といわれる甲子園大会にしたものです。
同窓生の皆様には物心両面にわたり、非常に大きなご支援をお願い申し上げます。恐縮してありますが、三十年来の大快挙であり、長く母校の歴史に残る後援でもありますので、時節柄何かとご苦勞の多いことと存じますが、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

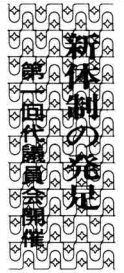
古城の門

無気力時代を反映してか、「氣」の本がブームだという。「氣力」が衰え、「根氣」を欠いて、「氣が弱くなつたら問題」「氣」の滞りには配慮したい▼「氣概、氣迫、氣品、氣転、熱氣、豪氣、本氣、英氣。氣が合う、氣に合っている、氣を配る。いずれも、いつも持っている、氣を配る。いずれも、いづれも呼ばれる、若者を対象にした職業意識調査。あなたに一番欠けているものはどの間に、競争心、バイタリティ、氣力などの回答が目立つ▼「あなたもわたしも明元素。これを合言葉にしている会社がある。明るく、元気に、そして素直でということらしい。「元氣」は、文字通り「氣」の元である▼人間は、氣力をふりしぼり、氣持を奮いたたせねばならない場面には、いづれも充ちさせていたいのだ。(龍)

社団法人 上田高等学校同窓会
昭和62年度 総会(会員大会)ご案内

- ◎ 9月5日(土)……当日は松尾祭一般公開日
PM1:00~3:30 受付 於同窓会館
「松尾祭」の多彩な催しを自由観覧
- ◎ 総会 於新体育館 PM3:30~4:00
(吹奏楽班賛助出演)
- ◎ 懇親会 於大門町「ささや」 PM4:30より
(参加者会費¥2,500)

以上



昨年6月の定期総会に於て、本会に代議員制度を設けることが決議され、20期卒より75期まで各期5名宛の代議員が選出された。(名簿別掲)

その第一回代議員会が去る5月23日、同窓会館二階大ホールで開催され、出席一五二名・委任状提出九二名であった。

開会に当たってまず「校歌斉唱」が行われ、金子理事長・金子校長及び小林閑東同窓会長の挨拶があった後、議事に入った。

第一号議案 昭和61年度事業報告及び会計決算承認の件
 第二号議案 昭和62年度事業計画及び予算承認の件
 第三号議案 総会(仮称・会員大会)開催の件
 第四号議案 代議員各期一名増員の件

の四議案が上程され、一、二については満場一致可決。三に対しては研究検討を要する問題であるため、企画委員会を設置して一任。四については一応了承され、実施は理事長の裁量に任せると決定した。

終つて懇親パーティに移り、先輩後輩入り乱れて談笑の渦となり、「このよな会は、年一、二回は非開催すべきだ」との声が多く、楽しく好評であった。

(社)上田高等学校同窓会

昭和61年度 決算書
昭和62年度 予算書

代議員名簿

昭和62年5月1日現在

◎収入の部

(単位:円)

| 科目 | 61度決算額 | 62度予算額 |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 預金利子 | 54,409 | 50,000 |
| 2. 配当金 | 21,441 | 20,000 |
| 3. 入会金 | 2,856,000 | 2,888,000 |
| 4. 維持会費 | 3,843,000 | 4,000,000 |
| 5. 会館維持負担金 | 602,800 | 600,000 |
| 6. 会報広告収入 | 350,000 | 350,000 |
| 7. 雑収入 | 269,770 | 200,000 |
| 8. 前年度繰越金 | 786,266 | 958,305 |
| 収入合計 | 8,783,686 | 9,016,305 |

◎支出の部

| 科目 | 61度決算額 | 62度予算額 |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 管理費 | 6,404,791 | 7,280,000 |
| ①給料手当 | 3,082,500 | 3,175,000 |
| ②旅費交通費 | 31,860 | 50,000 |
| ③支部連絡費 | 70,000 | 100,000 |
| ④総会費 | 350,815 | 400,000 |
| ⑤会議費 | 300,326 | 500,000 |
| ⑥交際費 | 13,000 | 50,000 |
| ⑦備品費 | 55,800 | 100,000 |
| ⑧消耗品費 | 89,439 | 150,000 |
| ⑨修理費 | 52,980 | 100,000 |
| ⑩通信費 | 1,465,003 | 1,600,000 |
| ⑪印刷費 | 195,800 | 300,000 |
| ⑫光熱水費 | 533,328 | 600,000 |
| ⑬退職積立金 | 50,000 | 50,000 |
| ⑭火災保険料 | 4,810 | 5,000 |
| ⑮雑費 | 162,110 | 100,000 |
| 2. 事業費 | 1,320,590 | 1,542,400 |
| ①会報発行費 | 306,500 | 350,000 |
| ②奨学金積立 | 0 | 100 |
| ③受章者記念品代 | 0 | 120,000 |
| ④転退職職員記念品代 | 510,00 | 45,500 |
| ⑤生徒入学卒業記念品代 | 211,090 | 250,000 |
| ⑥生徒学習指導助成費 | 710,000 | 706,800 |
| ⑦卒業生住所録助成費 | 42,000 | 50,000 |
| ⑧雑費 | 0 | 20,000 |
| 3. 予備費 | 100,000 | 193,905 |
| 4. 次年度繰越金 | 958,305 | 0 |
| 支出合計 | 8,783,686 | 9,016,305 |

- (20期)石井 汪 香山清和 (21期)栗林英雄 山浦 厚 (22期)遠藤憲三
 平尾義雄 (23期)桑原 周 中川 東 中島角太郎 (24期)笠原明義 齊藤佐五兵衛
 箱山貴太郎 柳橋 透 (25期)荒井重雄 井沢喜三 加藤 順 宮島武雄 (26期)
 石井公男 大石清治 竹内丈夫 山崎通雄 (27期)大塚真通 小野恒雄 笠原義人
 志摩修吾 西沢總一郎 (28期)荻野三代治 新保富治 滝沢 篤 茅野 功 (山健三
 (29期)工藤林之助 鈴木健吉 玉井亀治 半田栄一 三井祐三 鎌原義則 (30期)
 上平恒一 滝沢 石 多田忠正 塚田今朝則 永井大二 (31期)坂口育三 志摩正二
 玉井康彦 半田義雄 松高三男 (32期)星合義雄 矢島卯太郎 山極真平 若林正五
 緒貫隆正 (33期)土屋敦博 丸山一也 宮尾利雄 矢島 豪 (34期)中島大六
 林甲子三 布施祐一 村上和夫 母袋義平 (35期)荒木豊治 大井喜久雄 木村利喜雄
 (36期)折井正彦 関 隣 竹内義雄 田中豊雄 田中 玲 (37期)中村茂久
 柳沢一郎 山浦哲雄 浅野恭平 関 邦雄 (38期)小川原保雄 尾沢義信 穂谷 潔
 宮崎盛登 宮下 力 (39期)小林睦男 西沢弥八 萩原秀治 山極正之 (40期)
 池田正治 石田 守 尾島正吉 小宮山裕 藤森富男 (41期)金井 彰 沓掛喜八
 正村鉄夫 花田慈宏 和田公平 (42期)荒木伝久 島田陽太郎 高橋道彦 田沢芳徳
 保刈定美 (43期)箱山一生 堀内成雄 宮入広司 柳沢寛三 山極高一 (44-5期)
 浅川 寛 小島 譲 阪本典弥 堀内茂男 横関徳二 (44-4期)佐藤専太郎
 関 延雄 千野完吾 長谷川良一 柳沢 宏 (45期)今井邦夫 高木精一 柳沢賢二
 (46期)荒井真佐治 池上一巳 小泉渥二 田口光一 母袋悦男 (47期)大脇純一
 清水 周 町田吉司 矢沢 武 横山二男 (48期)伊藤伝兵衛 加藤精二 沓掛次郎
 工藤仁助 百瀬善彦 (49期)青島二郎 高橋忠正 中村 周 宮原 毅 柳原彰二
 (50期)滝沢良忠 半田収一郎 湯本 清 宮下義弘 両角喬男 (50期定)薄井 武
 (51期)齊藤元康 桜井重治 田中 明 丸山茂松 (51期定)腰原徳一 (52期)
 石森啓一郎 大沢智昭 滝沢千恵子 山崎博太 (52期定)五味一幸 (53期)小池 宏
 瀬下 司 名取守二郎 林 和弘 柳沢公則 (53期定)柴崎光一 (54期)甘利隆弘
 岡崎光雄 海瀬秀夫 近藤正司 富山 剛 (55期)浅川 徹 大井信一 大谷晃一
 栗田正実 沼田祐吉 (55期定)小林弓右司 (56期)岩下光利 富岡健治 中林敏夫
 中村義介 藤岡利世 (56期定)川上輝夫 (57期)伊藤健介 田辺昭夫 西田不折
 松尾公夫 柳沢文哉 (58期)川村英紀 村上 肇 工藤洋三 小林紘一郎 (59期)
 荒井純平 石坂忠昭 村居正雄 柳沢章雄 山田 豊 (60期)白鳥隆夫 瀬川豊秀
 土屋勲彦 日置勇二 和方俊二 (61期)飯島俊勝 関 陸夫 武井英子 田中邦文
 日尾嘉男 (62期)上原 剛 内堀隆久 柄沢 堯 島田悦夫 島田基正 (63期)
 権田 豊 西沢文登 羽田健一郎 柳沢長文 土山美吉 (64期)大久保仁兵衛
 金沢崇文 関 哲夫 滝沢 章 増田幸一 (65期)小嶋 進 西村賢治 矢島好高
 吉田一雄 若林 健 (66期)大井定雄 小林光夫 近藤博道 平野成基 (67期)
 飯島康典 市川隆裕 池村修三 石森 実 松高 久 (68期)押森弘文 関 次郎
 竹内俊隆 塚田秀美 山岸正幸 (69期)市川 泉 齊藤弘幸 高田 忍 竹原基好
 松尾睦夫 (70期)河田 純 坂田富雄 高橋 明 滝沢修一 手塚清彦 山岸巳津雄
 (71期)井出英夫 岡田洋一 中村勝則 藤井信一郎 和田芳幸 (72期)小林直文
 (73期)北村恵一 小山秀喜 (75期)神代芳樹 小宮山陽一 土井恭也 中村康宏

【監査報告】監事 山寺豊一・荻野幹夫・島田甲子雄

ますます元気でがんばっています!!

上田三二会

(32期)

海外で活躍する同窓生

秘境に築く男のロマン

ネパールの大地に立つ宮原魏氏

ネパールの宮原魏氏(50期)は青木村田沢温泉の旅館の次男。第四次南極観測隊、グリーンランド遠征隊長をはじめ、数々の登山・探検を続け、植村直巳氏とは親友であった。宮原さんとネパールとの出会いは、母校日大のムクト・ヒマール(六、八〇〇m)登頂で、山村の人々との深い交流が、この国で何かをしたいと言う決意に変った。大手企業を辞めて、66年にネパール政府の技術顧問として勤

立の為には、観光産業しかないとの固い信念のもとに、宮原さんは現在第二のホテル建設に取り組んでおり、首都カトマンズの小高い丘の上に、白いしゅうしやなホテル建設が急ピッチで進んでいる。部屋数97室。山仲間及び三井不動産の出資と、ネパール政府の融資を含めて、総工費12億円である。工事着工から長い中断期間を経て七年目になり、様々な障害を乗り越えて、まさに山男の執念のホテル造りである。本年11月開業予定。山に登ることだけが冒険だった時代は去った。自然と人間の接点で、社会に何かを残すことこそ現代の冒険だと思ふ。これが宮原さんの信条である。

昭和32年春、私はセ・リーグ審判員採用の通知を胸に、大阪へ向った。念願のプロ野球審判員になったという喜びは十二時間の旅の長さを忘れさせていた。あれから三十年、怖いもの知らずはこの世界に飛びこんだ己れの若さにぞっとしながらも、ここまで続いた自分自身に感じているのが現在の心境である。それと共に現在に至るまでの基礎を作ってくれた諸先輩が思い出される。プロ入りして最初の二年間は滝野通則氏(七審判)宅で過ごした。セ・リーグ中堅審判員で働き盛りの氏は自己の会得

した技術を惜しむことなく私に教えてくれた。グラウンドに立つた休まずに練習に励め、自分から練習出来る材料をさがし出せと積極性を説き、一軍に昇格するまでは禁酒を命令する等、公私共にきびしく鍛えられた。昭和三十四年一軍に昇格と共に東京在住となった私は、あこがれの後楽園での初出場を皮切りに先輩審判と共に転戦した。



グラウンドに生きた半生

プロ野球審判生活三十年

丸山 博(49期)

少年時代憧れの的であった三原・水原といった監督と共にグラウンドに立てると喜んだのも束の間、その憧れていた監督から抗議を受けたみじめさにならなければならない。独特の風格があり、応待する私が無意識のうちに「直立」の姿勢をとったくらいだった。それから大監督の抗議に対して平然と応待する先輩審判諸氏を見るに私が若い審判にそのまま云い伝えては、三三〇試合出場を目前にして経験を積むことの大切さを再認識しているのが現在の私である。身長一七〇センチ体重五六キロの私が大男ぞろいのプロ野球で三十年間やって来た理由は?と質問されたことがよくある。それに対して私は「私の周囲の人々のお陰」と答えている。それは前述の諸氏は無論、温かい家族、そして上田高校OBの一員と云う自負などに支えられてのことだと思ふ。(筆者はセントラル野球連盟審判部副部長)

受章者氏名

☆昭和61年秋叙勲

- 功野氏(28期) 勲五等瑞宝章
清藤氏(30期) 勲三等旭日中綬章
人村氏(30期) 勲三等旭日中綬章
文正氏(32期) 勲四等瑞宝章
礼武氏(33期) 勲四等旭日小綬章
貞夫氏(33期) 勲四等瑞宝章
親山氏(33期) 勲五等双光旭日章

☆昭和62年春叙勲

- 春男氏(24期) 勲四等瑞宝章
一仁氏(33期) 勲三等瑞宝章
利屋氏(33期) 勲四等瑞宝章

上田商工会議所

副会頭 保 刈 定 美(42期)

上田市大手一丁目十番二十二号 電話(三六)二一四五〇〇(番代)

信州健康村

社長 島 田 陽太郎(42期)

長野市篠ノ井会五九二 電話(三六)九二一八二二六

日信工業株式会社

代表取締役社長 宮 下 行 一(52期)

上田市国分八四〇 電話 二四一三二一一

㈱栗林製作所

代表取締役 栗 林 英 雄(21期)

栗 林 邦 夫(52期) 坂城町南条四八六〇 電話(三六)八二一三二五〇

われらは同窓生

「伝統の灯」を高く承継

関東同窓生 今や六千人!

関東同窓会会長 小林 郷 司(40)

太郎の峰、千曲の清流、古城の門に象徴される上田高校は、私達の青春の軌跡の凝縮であることは論をまちませんが、故郷を離れ東京近辺に在住される同窓諸兄姉は約六千人を数えます。その心の拠所ともいふべき関東同窓会は、島田元支部長を始め、



(一)会報「うえだ」の発行を年一回とし、会員全員に発送する。(神野前会長は健全財政維持のため、心ならずも会報発送を年会費納入者約千人に限定されましたが、これを関東在住会員全員に発送することとし、発行は当分の間、年一回とします)(二)同窓会本部と緊密な連係をと

長野支部意気軒昂!

「七夕大会」大いに沸く

恒例による七月七日、長野支部総会が山王会館に於て開催された。参加者81名と年々増加し、特に若い同窓生の参加が目立つようになった。校歌斉唱により開会となり、小林巳根夫支部長の挨拶の後、経過報告・会計報告・役員改選と議事が順調に進行し、そのあと水野本会副理事長・金子校長・柳沢関東同窓会

副会長の祝辞があった。和気あいあいのうちに祝宴が始まり、やがて久闊を懐かしむ交歓の輪が会場全体に広がり、昔日に返って談論風発の場面もあった。

最近長野県庁内で上田高校出身者の進出が目まじしいとの評判だが、この日も総務部長小山峰夫氏(51)商工部長竹下悦男氏

り、母校在校生に対する指導育成に努める。(三)同窓会は会員全員のものである。この大義のもと、委員会(総務・業務・会報・広告・基金)を常設し、会の運営に参画していただく。

幸い、役員・委員諸兄の献身的な努力により、会報もつづがなく発行され、六千人の会員及び在校生千五百人に発送されました。また去る6月25日に一橋「如水会館」において三百人の参加を得て第26回総会が開かれ盛會裡に終了いたしました。これも偏に皆様のご支援の賜であり、会長冥利に尽きると心から感謝しております。

今後共、関東同窓会の為にあたたかいお力ぞえを下さいますよう、お願い申し上げます。

- 支部長 小林巳根夫(23)
- 副支部長 志摩熊雄(34)
- 幹事長 市村喜之(41)
- 幹事 木内吉弘(44-5)
- 伊藤義久(44-5)
- 成沢繁雄(51)
- 長谷川淳一(57)
- 清水広美(60)
- 石坂道明(67)

OB会通信

サッカー部 会員四百名、OB会誌、名簿発行。正月大会
62・1・2、第二グラウンド、32名参加。在京OB対東電、62・4・11、東電グラウンド、試合後コンパ、32名参加。紅白試合、62・5・31、第二グラウンド、試合後総会、30名参加。

バスケットボール部 総会、62・1・2、同窓会館、65名参加。新入OB歓迎会、62・3・14、同窓会館、46名参加。 関

東支部総会、62・6・6、日鉦社員クラブ、25名参加。
野球部 総会、62・1・25、ささや、42名参加。新入OB歓迎会、62・3・22、母校グラウンド及び上田食堂、38名参加。納上田温泉の予定。
ハンドボール部 総会、62・1・1、50名参加。室内大会、62・3・8。創立四〇周年記念実行委員会役員会、62・7・7。現役、第五回日中青少年学生交流大会に推薦される。

凱歌の碑立つ

第五十一期生は、卒業三十五周年記念事業として、さる五月十六日、若葉薫る母校の中庭において、あの懐かしい応援歌「凱歌」の碑(碑文の揮毫は同期の書道家成沢臨舟氏が担当)の入魂除幕式を同期生58名、来賓及び学校側30余名参列のもと盛大に行なった。その



東部町長に保科氏(56)

昭和61年12月、小県郡東部町の町長に保科徹氏が無投票で当選した。氏は東教大卒業後、家業を継ぎ、52年東部町議に初当選、以来副議長などを歴任した。魅力ある町づくりに向け、新町長の若さと優れた先見性に町民の期待が高まっている。

上田日本無線六文銭会

同窓生の親睦会六文銭会がある。会員七十名、このところ工業系大学卒が入社、会員は急激に増加している。毎年二回温泉で裸の付き合いをする。(代表 荒井威(50)記)

医療法人 健和会

小林脳神経外科 外科病院

院長 小林 茂(47期)
副院長 百 瀬 玄 機

上田市常田三丁目15番41号
☎(0268) 22-6885(代)

八宏電子株式会社

代表取締役 上原 信之(47期)
上田市天神二一―一三一
電話(〇三六)二五―二二五八(代)



株式会社 信州ガーデン
代表取締役 坂下 和三(47期)

本社 上田市大字上田八九四
事務所 小県郡東部町加沢四七―二
☎(〇三六)六二―一六六一(代)

伝統のクラブ活動紹介

男子団体

インターハイ出場

Ⅱ剣道班Ⅱ

十年ぶり全国大会団体戦に出場、内一名は個人戦を兼ねております。生徒の努力もさることながらOB会のご援助と伝統の力に深く感謝しております。先頃は福井県での北信越大会に参加しましたが、他県勢に対してもう少しの押しの不足を痛感させられました。それ以上の全国の強豪に挑んでいかに堂々と討死できるか、真田出丸の居直り



新装なった格技室

目標をたて稽古を重ねております。並行して二年生を中心に新チームの育成に向けて新たな出発をいたしました。二年生十一名・一年生十七名です。

インターハイ出場

Ⅱ硬式テニス班Ⅱ

「え、うそ、私が、インターハイ……？」

これが出場と決まった瞬間の私の感慨です。うれしいと思う前に、信じられなかったのです。これも、熱心に教えてくださった先生、いつも明るく素直な班員達、そしていつも応援してくれた皆さんのおかげです。ほんとうに感謝しています。

今は、インターハイ一回戦突破団体出場に向けて、頑張っている毎日です。(中曽根美穂)

30年ぶりの快挙

甲子園出場

＝野球班＝

第69回全国高校野球長野大会決勝戦は、7月28日県営松本球場で行なわれ、上田高校対丸子実校の東信勢同士の対決は、白熱の好試合の末、4対3で強豪丸実を破り、堂々優勝、甲子園出場の栄冠を手にした。千余名の応援団の大歓声と凱歌が感動的であった。

九年連続全国大会へ

Ⅱ囲碁将棋班Ⅱ

将棋は県大会決勝戦で惜敗しましたが、囲碁は男女ともに団体優勝し、九年連続全国大会出場となりました。

囲碁の場合、通常幼い時に覚え小中学校時代から活躍し高校入学時すでに高段の力をもった選手が圧倒的に多い中で、全くの初心者が入学二年間で他校選手と対等に戦える力を身につけている点が、本校の最大の特徴と言えます。これも後援会員はじめ同窓各位の物心・技にわたる強力なご援助の賜と感謝申し上げます。

昭和62年度 主なクラブの戦績

(県大会以上)

○剣道班

県大会 団体男子優勝
(北信越大会出場) 全国大会へ
県大会 個人男子2位
(北信越大会出場) 全国大会へ

○柔道班

県大会 団体男子4位
(北信越大会出場)

○ハンドボール班

県大会 男子3位

○バドミントン班

県大会 個人戦、ダブルス、
シングルス3位

○陸上競技班

県大会 5種目入賞
(北信越大会6名出場)

○ソフトボール班

県大会 2位

○テニス班

高校総体県大会 個人戦
シングルス2位 全国大会へ
第42回国民体育大会県予選1位
(北信越大会へ)

○軟式テニス班

県大会 個人戦ダブルス
北信越大会へ

○囲碁

団体 男女とも県大会優勝
個人 男子ベスト8 2人

女子 1位、2位、3位

○将棋

団体 県大会準優勝

○野球班

県大会優勝
甲子園出場



57期

ブリヂストンタイヤ

上田販売株

伊藤 健介

(三六)二一八二三四

田辺商事株

田辺 昭夫

(三六)二一六一五五

西田技研工業株

西田 不折

(三六)二一五二二二

西沢書店株

松尾 公夫

(三六)二一〇〇二四

医療法人健救会

柳沢病院

柳沢 文哉

(三六)二一〇一〇九

恩師・異友逝く

歴史と酒を愛した

十亀先生の思い出



チョッキのポケットに指先を入れた...

が出た脚が出た。口さがない中学生にかかると漫画にされてしま...

倉沢剛君逝く

温く甘き香りに惹かれ酌む僅かの酒の冬の夜によきとあつた。

小山敬三画伯(14期)

力された。61年9月14日83歳で逝去。

倉沢君は長師、東京高師、文理大と教育一筋の道を歩み、その間母校を始め数校の教員生活を体験したが、彼本来の目標は一に教育学の権威にあつた。

「私は人生を十分に生きてきた」文化勲章受章者で日本芸術院会員の洋画家小山敬三氏は、そんな言葉を残して2月7日、八十九年の生涯を閉じた。

英語が先生より出来た男

独学の英才 木内修一郎君を偲ぶ

彼は大正八年、野沢中から転校してきた。転入時から英語の力は抜群で、英作文の授業で武原先生が解答例を示すと、彼はすらすらとほかに幾つもの例文を示して皆をび...

度のものであつたかを示す話がある。それは私の兄が旧制八高を受験した際の英語の問題で、紙面の都合で紹介出来ないのが残念だが、要は文中のある形容詞を、名詞にかけるか副詞扱いにするかによって、意味の異つた二通りの訳し方が出来る難問で、物議をかました試験問題で

あつた。この難問を彼に送つて意見求めた処、彼は事も無げに「この文章はジェフエリーのこの本の中に出て来る一節だよ。読めば作者の気持がわかるよ」とその原書を送られた時は、全く頭の下がる思いであつた。

物故者慰霊祭

★第36期 4月18日上田鍛冶町の本陽寺に於いて、他界した同期生58名(うち戦歿者31名)の合同慰霊祭を挙...

★第40期

6月20日別所温泉常楽寺に於いて、物故された旧友33名の慰霊祭を執り行い、そのあと南条旅館で同期会を開催した。60名が参加の空前の盛況で、卒業以来四十年ぶりの再会という人も多く、夜更けるのも忘れて懐旧談に花が咲いた。恩師の南雲行夫先生と遺族代表小山谷吉氏未亡人のお二人が招待され、席上小林郷司氏の関東同窓会会長就任のあいさつもあつた。

株上原ファーマシー 代表取締役 社長 上原 剛(62期) 友人 柄沢 堯(62期)

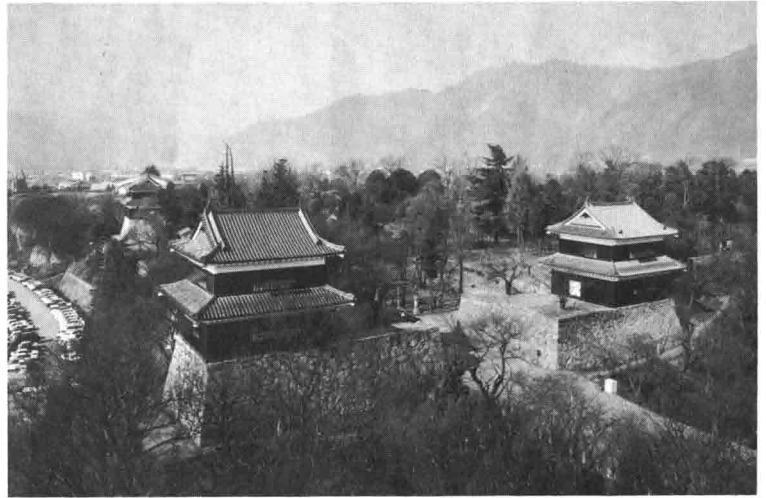
金属プレス加工 (有)小林精工 代表取締役 社長 小林 悦夫(62期)

心豊かな木の香り 上田才三木材 社長 島田 基正(62期) 専務 宮島 清一(52期) 取締役 日尾 嘉男(61期)

上田市中中央六一五〇 電話二二二七三八



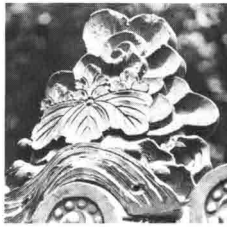
7月12日、岳の織でにぎわう
別所温泉です。



上田城の三櫓が大修理されました。内部も公開されています。
(三櫓修理報告書より)



ぎおん祭、7月18日中央交差点付近です。
上田わっしょい(7月25日)、七夕飾り
(8月5～8日)、盆おどり(8月13～
16日)と、上田の夏もにぎわいます。



上田駅前近影

ふるさと
スナツプだより



矢出沢川、蛇沢を越す上田バイパス
63年開通の予定です。



千曲川寸景



総合建設業 ナショナル住宅代理店

柳屋建設株式会社

代表取締役 柳 沢 章 雄(59期)

| | |
|---------------------|---------------------|
| 専務取締役 小林 軍 治(37期) | 建設部長 荒 井 邦 夫(61期) |
| 駐車場担当 柳 沢 寛 三(43期) | N住工務担当 田 中 功 一(67期) |
| 業務推進部長 松 本 圭 蔵(59期) | 木材経理担当 宮 島 良 雄(68期) |

